

令和6年度 片原一色小学校学校運営協議会 第3回会議報告

令和6年2月20日（木） 11:30～13:00 於 会議室

1 開会の言葉

（参加者）地域代表4名、保護者代表2名、学校代表5名

2 校長挨拶

(1) 最近の児童の姿について

2学期の行事も無事に終わり、1月には、なかよし活動としておたのしみ会を開催し、児童で遊ぶ機会をもった。3学期の行事も、残すところ卒業生を送る会と卒業式となった。

(2) 来年度の行事について

- ・ 少人数の現在4年生の令和7年度の野外教育活動、令和8年度の修学旅行については、バス代の高騰に伴う積立金の増額が見込まれるため、説明して保護者の理解を得ていきたい。
- ・ 令和7年度の運動会については、地域の協力を得て10月第3土曜日に開催予定で、予備日を翌日の日曜日で考えている。
- ・ 保護者やご家族の皆様に学校の教育活動に力を貸していただきたく、保護者に文書を出して「学校サポーター」を依頼していく予定である。
- ・ 3月1日に予定されている明治中学校区応援「清掃ボランティア募集！」について、地域全体で子どもたちを育てていくための取組と捉えている。

3 協議事項

(1) 本年度の教育活動の振り返りについて

① 12月学校評価の集計結果について（教頭）

- ・ 保護者アンケートの「学校運営」「学習指導」「教師の対応」「児童の生活」に対しては、概ねよい評価をいただいた。
- ・ 「学習指導」については、特に「教師は体験的な活動を取り入れている」で肯定的な意見を多くいただいた。今後も、見学や出前授業など児童の関心を高める取組を授業計画に効果的に取り入れていくとともに、子どもたちにとって充実した活動ができるよう、保護者の方にボランティアとしてお手伝いをお願いしたり、新たな外部講師や見学先を開拓したりしていきたい。
- ・ 「児童の生活」については、あいさつにおいて昨年より肯定的な意見を多くいただいた。児童会、広報・生活委員会が中心となって、定期的にあいさつ運動に取り組んだ成果でもある。よりよい生活習慣の定着に向けて、今後とも、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきたい。
- ・ 評価の低かった「環境等」においては、今後とも、定期的に施設・設備の安全点検を行い、改善箇所の早期発見・改修に努めたい。市に対しても、施設・設備の充実を粘り強く要望していく。
- ・ 教員アンケートの「多忙化解消」では、月あたりの時間外勤務時間は減少しているが、評価は低い。子ども達の前に笑顔で立てるように、保護者や地域のご理解とお力をいただきながら、小さな取組を少しずつでも進めていきたい。
- ・ 学校では、次年度の取り組みについて教職員で話し合っている。いただいた評価やご意見は、次年度に向けての改善に生かしていきたい。

② 教育活動について（教務）

- ・ 令和4年度から3年間、児童の「自分らしく表現する力」を高めようと、研究を進めてきた。
- ・ めざす児童像は、学校運営協議会での意見も参考にし、発達段階に応じて設定した。
- ・ 授業だけでなく日々の学級活動や行事の振り返りの場等、あらゆる場において児童の表現力の育成を図った。
- ・ 朝の会や全校朝会、一斉下校時等の教師による季節・行事等に関する説話、子ども新聞の音読活動、辞書引き学習を取り入れた語彙を獲得する活動等に取り組みながら研究を進めた。
- ・ 表現力を育成する手だての1つとして、新聞活用学習を取り入れて実践を行った。

- ・ 新しく知った言葉や表現の仕方を意識できるように、心に残った言葉や表現を紹介カードに記入させて掲示した。
- ・ 心に残った言葉は、どの学年も周りの大人（家族や習い事の先生等）や教師からの言葉が多かった。言われて嬉しかったことや注意されたこと、励まされたこと等、その時の感情を伴った言葉が多く、児童にとって周りの大人からの言葉の影響は大きい。
- ・ 学年に応じて、言葉に対する感性を高める活動や自分らしい表現をめざす活動、新聞活用学習に取り組んだことで、新しい言葉や表現方法を身に付けたり、語彙力を高めたりできた児童が増えた。
- ・ 日常的にさまざまな言葉や表現に触れさせたり、振り返らせたりすることで、自分自身の表現の仕方について考え、高めていこうという意欲が見られた。
- ・ 今後の課題は、絵日記やスピーチ等のみではなく、意見をまとめるときや授業の振り返り、日常会話の中でも学んだ表現を活用すること。効果的な表現に対する目標設定と振り返りを行うこと。
- ・ 児童の表現力を高めるために、目標や紹介カードを掲示したり、振り返りの時間を設定したりすることを、今後も常時的な活動として継続していくことが必要である。

③ 施設・設備について（県事務・教頭）

- ・ 運動場南の民家との境界フェンスを2月下旬に設置予定である。また、フェンス沿いの樹木についても3月初旬に伐採される予定である。
- ・ 給食室の床下で水道管老朽化のため漏水している。夏休みまでには修繕していただけると市から聞いている。
- ・ 給食の調理が4月からは民間業者委託となる。

（本年度の教育活動の振り返りについての協議） 主な話し合いの内容は以下の通りである。

- ・ 令和8年度の修学旅行ではどこかの学校と合同で出かけることはできないか。（地域代表）
稲沢市（市教委）でルートやバス代を統一していくことはできないのか。（地域代表）
→ 同じ課題を持つ同規模の学校に打診を行ったが、同じ中学校区での連合を模索している。
現在も、明治地区の3校合同で入札を行い、企画料金を低くする努力をしている。（学校）
→ 子どもの旅費のために、積立金の増額をお願いすることには、保護者の理解は得られると思う。（地域代表）
- ・ 給食の調理が民間業者委託になると、味とか変わるのではないか。（地域代表）
→ 調理するのは民間業者となるが、献立を考えるのは学校の栄養教諭であり、アレルギー対応等全て従来通りのやり方で行うと聞いている。（学校）

(2) 次年度の学校運営基本方針についての意見交換（校長）

- ・ 令和7年度「めざす児童像」原案について
重点目標については、重点が分かりやすくなるように、「子ども一人一人が生き生きと学習できるようにする」を「かしこさ」、「子ども一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるようにする」を「やさしさ」、「子どもの健康と生命 safety を第一に気配りと危機管理を徹底する」を「たくましさ」として内容を精選した。

（原案に関する協議）

- ・ 特になし → 令和7年度「めざす児童像」原案については承認いただけた。

4 その他

- ・ 来年度の「学校運営協議会委員」の再任について依頼した。
- ・ 来年度の「地域学校協働活動推進員」を、服部良夫様にお願いすることとなった。

5 閉会の言葉

- ・ 来年度の学校運営協議会日程について確認